

メディコス文化道

MEDI COS BUNKA MUSEUM VOL.13

特集 開館9周年記念イベント「ゆったりカルチャー3days」／メディ
コス空想スケッチ教室／音絵座展 **メディコスのコレカラ** 伊東豊雄さん
と吉成信夫さんのトークイベント開催！



ぎふメディアコスモス
GIFU MEDIA COSMOS

メディコス開館9周年 記念イベント開催！

2024年7月13日～15日に開催された開館9周年記念イベント。

トークイベントやマルシェなど多彩な企画で盛り上がりました。

2024年7月に9周年を迎えたメディコスでは、恒例となった周年イベント「ゆったりカルチャー3days」が開催されました。トークイベントや、「みんなの森の住人たち」などのアートワークショップ、小学生のお仕事体験、外国人市民向けのセミナー、本の交歓会など、3日間で実施された企画はなんと10以上！

屋外の広場では、長良・鵜飼屋地区にある複合施設「&n(あんどん)」が主催しているマルシェ「あんどん楽市」と「長良川夜市」が「メディコス&n長良川夏市」として出張開催！夏空のもと、人気キッチンカーのグルメをはじめ、さまざまな出店、SUP体験、ヨガ、盆踊りなどを多くの人が楽しめました。



メディコス空想スケッチ教室

スケッチジャーナリストの大角真子さんが講師となり、7月13日に開催された「メディコス空想スケッチ教室」。参加した子どもたちは館内を巡り、ドキドキテラスや図書館で気になる人やものを観察したり、誰もが居心地よく過ごせるメディコスについて空想したりしながら、メディコスの「今」と「未来」をスケッチ。自由で柔軟な発想で作品を完成させました。



TOPIC

祝！来館者1000万人！

2024年6月にメディコスの来館者が1000万人を達成！記念セレモニーでは、来館1000万人目となった市内在住の小西さん親子に柴橋正直市長が記念証や市の伝統工芸品「岐阜和傘」を贈呈しました。2023年度に過去最多の131万人が来館し、9年目を迎えてなお来館者の勢いが増すメディコス。多くの人々に居心地の良い場所として親しまれています。



音、絵、映像の体験型アート 「音絵座展」開催！

特集
02

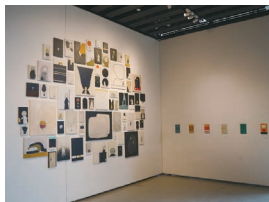
2024年5月2日～11日に開催された「音絵座展」。

音と絵、映像が重なる体験型の展示やライブで、アートが身近に。

即興芸術集団「音絵座」によって開催された今回の企画展。絵画作品の展示のほか、自分が描いた絵と他の人が描いた絵が重なりながら壁に大きく投影される体験型展示も行われ、来場した親子や兄弟、偶然居合わせた人たちが一緒にアート表現を楽しみました。

会期中はライブパフォーマンスも実施。音楽家の岩井一生さんが奏でる音に合わせて、画家の志賀龍太さん、林リウイチさんが即興で絵を描き、さらに映像作家の齋藤愛さんがエフェクトをつけて作品が完成。まるで物語のような没入型のパフォーマンスに観覧者は釘付けとなりました。

音絵座
Instagram



TOPIC

岐阜県在住の絵本作家、高島純さんのイラスト入りマグカップ＆マスキングテープと、図書館を象徴する「グローブ」をモチーフにしたピンバッジを、中央図書館のレファレンスカウンターで販売しています！

〔価格〕(すべて税込)

マグカップ(ゾウ、ゴリラ、パンダ) …… 各2,400円(各限定200個)

マスキングテープ …… 幅15mm 300円 / 幅20mm 350円
(各限定800個)

ピンバッジ …… 1個 300円(限定500個)



図書館のオリジナル
グッズ販売中！

TOPIC



2025年に開館10周年の節目を迎えるメディコスでは、居心地のいい場所でありながら、時代にふさわしい新たな価値を創造する場へと成長していくための資金を「ぎふメディアコスモス応援寄附金」というカタチで募っています。ふるさと納税各種ポータルサイト・申込フォーム・郵送でお申込みいただけます。ぜひ、応援寄附金にご協力ください！

メディコスを
応援しませんか？

詳しくは公式HPを
ご覧ください！



メディコスのコレカラ

THINK FUTURE
of MEDICOS

伊東豊雄さんと吉成信夫さんの トークイベント開催！

メディコス開館9周年を記念して2024年7月14日に開催された建築家・伊東豊雄さんと元メディコス総合プロデューサー・吉成信夫さんのトークイベント「みんなのメディアコスモスを語り合う～建築思想とコンテンツに込めたもの」。会場のドキドキテラスは聴講者で満席の大盛況で、インスタライブ配信も行われました。

第1部では、メディコスを設計した世界的建築家の伊東豊雄さんが登壇し、「公共建築はもうひとつの我が家である」をテーマに講演。メディコスを設計するにあたってコンセプトの一つに、建物の中にいても、子どもたちが走り回ったり、人々が自由に過ごしたりできる公園や庭のような建築、つまり「館ではなく園をつくる」ことを掲げたと振り返りました。また、公共建築とは人に安らぎや生きる力を与えるサードプレイスであるべきで、メディコスは人と人をつなぐ“みんなの家”であり、自由な場所であってほしいと語りました。



第2部は「吉成元プロデューサーとこれからのメディコスを考える」と題したトークで、伊東豊雄さんと開館からメディコスの運営に深く関わってきた吉成信夫さんが9年間の歩みや未来について語り合いました。

子どもたちにメディコスを“もう一つの自分の家”だと思ってもらえれば、楽しくて来なくなる。そういう“みんなの家”、場所になればと思って設計しました。そして公共建築はできあがったら引き継いで、変えていってもらえることが一番だと思っています。



伊東 豊雄さん



吉成 信夫さん

伊東さんの建築は、すごく自由で美しく、広がりがある、いろんなコミュニティが生まれます。メディコスにはいい意味で変人が集まるんですよ(笑)。開館からこれまで、いろんな変化が起こりました。建物の中だけ“まち”を感じるんですよ。

メディコスの過去、現在、未来への期待まで、話題の尽きないお二人のトークはメディコスのこれからのあり方を考える良い機会となりました。

メディコス スケッチ日記展

7月14・15日に、1階東エントランスの壁を彩った「メディコススケッチ日記(ジャーナル)展」。スケッチジャーナリストの大角真子さんが「メディコス文化道」9～12号の表紙のために館内に滞在して描き溜めたスケッチや、13日に開催された「メディコス空想スケッチ教室」の参加者が描いたスケッチには、“観察”を通して見るメディコスの今と未来が描かれていました。



スケッチジャーナリスト
大角 真子さん



岐阜の文化地図

甲斐みのりが歩く



文筆家・
甲斐みのりさんが
岐阜市をめぐって
“いいところ”を
再発見！

司町・伊奈波
エリア

【岐阜市 / 司町・伊奈波エリア】

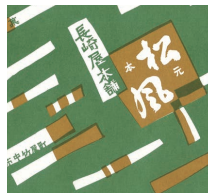
文・写真



《甲斐みのり》

文筆家。旅、手みやげ、喫茶、建築などにまつわる著書多数。訪れた土地の魅力を見出して綴る愛しみのある文体で、全国に多くのファンを持つ。
<https://www.loule.net/>

え、昭和の時代も賑わいを見せた伊奈波神社界隈も散策。今も老舗が点在する中、かつての参道の活気を取り戻すべくマルシェが行われたり、古い建物を改装した新店が次々オープンしている様子があまりにも楽しくて。新旧の店を巡って、たい焼きやうどんを食べ歩いたり、おみやげを買って込んだり。心もお腹もふんわりと満たされました。こうして岐阜のまちを歩くたび、通いたい場所が増えるのです。



1	2	3
4	5	6

1. メディコスには、ユニークな形の子どものための閲覧スペースや、金華山を望むテラス席が。
3. たい焼き店「福丸」では、夏限定のかき水を。4.5. 伊奈波神社の楼門と自分で顔を描き入れる絵馬。6. 創業 300 年を超える老舗和菓子店「長崎屋本店」の包装紙。



通いたい場所がある
暮らしと商いが近いまち

岐阜市との縁は、ある連載の取材で開館まもない「みんなの森ぎふメディアアコスモス」を訪れたのが始まりです。そのとき残したメモはこんなふう。「市立図書館?! まるで北欧! 木造建築?! 豊かな街だ! とめない感嘆」。デザイン性に富んだ建築の中、まちや森を自由に歩くように読書ができたたり、さまざまなイベントが開催されたり。日常的に文化的な事柄に触れられる存在に、羨望の思いを抱きました。それからすぐに、岐阜市在住の知人に地元を案内いただき、メディコスを再訪。この司町エリアが長年地域を支えてきた歴史を知りました。

今回は江戸時代に繁華街として栄



品書きあれこれ
最良にしたい讃岐うどん



2

高松家

讃岐うどん店の店主・宇佐見俊二さんが仕込みを始めるのは、夜明け前の午前3時40分。7種類の削り節と利尻昆布でだしを取り、香川産の小麦粉に赤穂の塩と長良川の伏流水を合わせて、生地を手打ちします。昭和53年の開店以来、妻・峰子さんと二人で店を切り盛りしてきました。

客それぞれに馴染みの品がある中で初来店者におすすめなのが、店の名を冠した「高松家うどん」。甘辛く煮付けたどんこ椎茸、茹でえび、おあげ、たまごと貝沢山。透き通ったつゆとともに、噛むほどに旨みが広がるこしの強い麺が、するりと喉を通り抜け、お腹もふっくら大満足。

まちや公園のように
過ごせる憩いの場



1

みんなの森 ぎふメディアコスモス



緩やかなカーブを描く東濃ひのきの格子屋根の建物の中。棚、照明、椅子や机、看板目に映るデザイン全てがのびやかで洗練された、心地よい空間が広がっています。図書館や交流センター、展示ギャラリーとして利用されるこの複合文化施設を設計したのは、世界的な建築家・伊東豊雄氏。従来の公共施設のあり方にとらわれず、創造性に富んだ拠点作りがおこなわれ、市民の文化の拠り所に。天井から吊るされた傘のような「グロウプ」を中心に本棚が並ぶ図書館は、まちや公園さながら。思いがけない本との出会いや、イベントを通して人との交流、豊かな学びに溢れています。



昔ながらの
一本焼き

① 薄皮たい焼き 福丸の たい焼き

小ぶりの鋳型に米粉入りの生地を薄く流し込み、パリッと歯切れよく焼き上げる。中には十勝産の小豆とガラメを合わせた自家製あんがたっぷり。和やかな店主の人柄に通ずる優しい味わい。



甲斐丸のりが見つけた
岐阜市のおき。

店頭と通販だけの
限定販売



つるりとした
かわいい形



② 山本佐太郎商店の 生地をあじわう 大地のかりんとう

岐阜県産小麦粉、北海道産石臼挽き小麦全粒粉、平飼い有精卵、粗糖。シンプルながらもこだわりの素材で生地を作り、純国産米油で手揚げ。手が止まらない！

③ 麩兵の 麩まんじゅう

和菓子店と同じように、木型や木べらを使って一つずつ仕上げる、生麩専門店の愛らしい麩まんじゅう。季節ごとに、花や色合い、中身のあんの種類が変わる。

① 薄皮たい焼き 福丸

岐阜市伊奈波通り1-8
☎ 11:00~17:00
☎ 水・木曜定休(臨時休業あり)
☎ 080-6070-1388

② 山本佐太郎商店

岐阜市松屋町17
☎ 9:30~17:30
☎ 日・祝日定休
☎ 058-262-0432

③ 麩兵

岐阜市米屋町15
☎ 9:00~17:00
☎ 日曜定休、水曜不定休
☎ 058-262-0283



3

漢隣堂 長崎屋本店



江戸時代から続く
岐阜生まれのふたつの銘菓

創業は江戸時代中期の享保5年。岐阜一番の歴史を誇る和菓子店の店頭に並ぶのは3品のみ。ひとつは、砂糖小麦粉、ケシの実で作る煎餅に似た食感の「松風」。その松風の材料に栂味噌を加えて焼いたのが、夏目漱石『虞美人草』に登場し、武井武雄がスケッチを残したカステラ風の「味噌松風」。「ゆず味噌松風」は、10代目の息子と味を守る9代目が考案しました。

いぶし銀の店内に、鵜舟の舟板や、杉、松、梧と、贅沢な建材が使われているのも老舗らしさ。9代目が学生時代に手がけたという、代表銘菓をモチーフにしたモダンな柄の包装紙も愛でてください。

岐阜市中竹屋町38 ☎ 9:00~18:00 ☎ 日曜 ☎ 058-263-1463
<https://gifu-nagasakiya.com/> 松風 / 10包20枚 830円(税込)

岐阜の文化地図

司町・伊奈波エリア

- メディコス
- 伊奈波神社
- 福丸
- 高松家
- 山本佐太郎商店
- 麩兵
- 長崎屋本店

1
みんなの森
ぎふメディアコスモス

長良川

金華橋通り

岐阜市役所

●岐阜市民会館

山本佐太郎商店

●旧岐阜県総合庁舎

大正13年に「岐阜県庁舎」が建てられ、官庁街として発展したことから「司の町」と称されるように。

3

●漢隣堂 長崎屋本店

長良橋通り

御膳街道

●麩兵

2

高松家

●裏参道モール

古民家をリノベーションして誕生した「裏参道モール」には、天むすやフォーの専門店がオープン。

薄皮たい焼き 福丸

●岐阜善光寺

織田信長公ゆかりの寺。かつての参道のにぎわいを取り戻したいと境内や参道でマルシェなども開催。

●伊奈波神社

創建1900年以上の古社。明治期には界限に歌舞伎や見世物小屋、茶屋などができてにぎわった。

N



メディコス文化道 VOL.13 (2024年8月発行)

発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス

編集・デザイン / さかだちブックス(株式会社リトルクリエイティブセンター)

みんなの森 ぎふメディアコスモス

〒500-8076 岐阜市司町40-5

TEL.058-265-4101

<https://g-mediacosmos.jp/>



WEBサイト



シビクブraid
プレイス



Instagram